

2020 全日本大学自転車競技大会 大会要項

ver.20201001

主催 日本学生自転車競技連盟
 共催 公益財団法人日本自転車競技連盟
 運営協力 長野県自転車競技連盟 群馬県自転車競技連盟
 後援 松本市 一般財団法人松本スポーツ協会 一般社団法人松本観光コンベンション協会
 協賛 公益財団法人JKA 公益社団法人全国競輪施行者協議会 一般社団法人日本競輪選手会
 井上ゴム工業株式会社 WIN AND WIN CO., LTD. (WIAWIS) 株式会社パールイズミ
 セイコータイムシステム株式会社

協力 井上ゴム工業株式会社 株式会社日直商会 (予定) (複数標記部分順不同)
 期日

トラック	: 2020年	10月 8日 (木)	20時 00分	トラック監督会議 (Zoom会議)
		10月 10日 (土)	7時 35分	トラック参加選手 受付+ゼッケン配布 (於: トラック競技場内 8:30 終了)
			9時 30分	競技開始
			12時 20分	開会式・表彰式 / トラック競技種目別
			競技終了後	表彰式 / トラック競技種目別 於: トラック競技場内
		10月 11日 (日)	7時 30分	2日目のみトラック参加選手 受付+ゼッケン配布 (於: トラック競技場内 8:30 終了)
			9時 30分	競技開始
			競技終了後	表彰式 / トラック競技種目別 於: トラック競技場内
ロード	: 2020年	10月 15日 (木)	20時 00分	ロード監督会議 (Zoom会議)
		10月 17日 (土)	8時 00分	男女ロード参加選手 受付+ゼッケン配布 (於: 本部受付 8:30 終了)
			9時 30分	女子競技開始 (7周= 42 km)
			11時 15分	表彰式 / 女子ロードレース
			11時 30分	男子競技開始 (17周= 102 km)
			15時 00分	表彰式 / 男子ロードレース、閉会式

会場 トラック: 長野県松本市三才山 松本市美鈴湖自転車競技場 (333.33m)
 ロード: 群馬県利根郡みなかみ町 群馬サイクルスポーツセンター 1周6 km

大会主旨 本大会は、当年度の日本学生自転車競技連盟加盟校のチーム別エントリーによる種目別の優勝者を定める事を通じ、様々な感染対策の有効性を確認しつつ、競技力を維持向上し、選手間の友好・親善・交流を図ることを目的とする。

競技種目 1. 男子の部: スプリント、ケイリン、4kmTP、チームスプリント、オムニウム、マディソン、個人ロードレース (6km×17周=102 km)
 2. 女子の部: スプリント、チームスプリント、オムニウム、マディソン、個人ロードレース (6km×7周= 42 km)

参加資格

(男女共通)

1. 当該年度に有効な、公益財団法人日本自転車競技連盟 (以下「JCF」という) 登録競技者のうち、本連盟登記選手。
2. 別途本連盟より発表の「大会開催時ウイルス感染防止対策ガイドライン」を順守し、その遂行に協力し、審判・感染対策委員及び総務委員の指示に従うことを参加条件とする。当連盟ガイドラインを順守せず、その遂行に協力を拒む場合、および当日の体調が新型コロナ罹患を疑われる場合には、それが故意であるかに関わらず、大会参加・会場への入場を認めない。尚、参加申込にあたっては、本大会参加に伴って万が一発生した如何なる不利益・損害も参加者本人の責任に帰する事を承諾し、当連盟ガイドラインのみならず、所属校・居住地行政などの指針を熟慮のうえ参加可否を判断すること。

(男子トラックレース)

3. 当該年度版学連大会参加基準を満たしている者。補欠選手も大会参加基準を満たしていること。
4. 1人2種目迄、但し4kmTP、チームスプリントはこの数に含まない。1校あたりの最大人数は補欠を含め10名迄とする。
5. 各校種目別のエントリー可能人数は次の通り。
 スプリント=2名迄、ケイリン、オムニウム=1名、マディソン=1組、4kmチームパーシュート=1チーム (6名/出走4名)、チームスプリント=1チーム (5名/出走3名)
6. 補欠選手登録は、各校トラック各個人種目1名、マディソン2名迄とする。
7. マディソンの参加条件については以下の通りとする。UCI、JCF及び学連主催大会のマディソンレースにおいて走行経験のある者とする。補欠についても同様とする。なお、エントリー数により予選を行う場合がある。

(女子トラックレース)

8. 1人1種目迄、但しチームスプリント、マディソンはこの数に含まない。
9. 各校種目別のエントリー可能人数は次の通り。
 スプリント、オムニウムは各校2名迄、マディソンは2組迄、チームスプリント1チーム (3名/出走2名)。
10. 補欠選手登録は、各校トラック各個人種目1名迄、マディソンは2名迄とする。

(ロードレース)

11. 男子は当該年度ロード・カテゴリ・クラス1若しくは2に属する者。1校5名迄、2019年度ロード・チームランキング上位8チームまでは+1名 (最大計6名まで)、補欠選手登録2名迄。最大計100名。
 尚、出走予定人数が100名を越えた場合、下記の順に100名までを選出する。
 (1) 前年度のロード選手権ランキング
 (2) 本年度ロード・クラス1、RCS ランキング
 (3) 本年度ロード・クラス2、RCS ランキング
 なお、補欠について2020年度はクラスを問わず、上記人数に含まない。
12. 女子は1校6名迄、補欠選手登録2名迄。

(男女トラック/男女ロードレース共通)

13. 主催者が認めた若干名のJCF強化指定選手のオープン参加を許容する場合がある。(女子選手の男子レースへの参加を含む)(チーム監督)

14. チーム監督はUCIコーチ資格、日本体育協会上級コーチ・コーチ・指導員資格、JCFチームアテンダント所持者に限る。

参加申込

1. 参加を希望する選手は、所定の様式にて本連盟事務局まで電子メールにより申し込むこと。エントリー専用電子メールアドレス(2020jicf.championship@gmail.com)への到着を以て参加申込の正式受領とするが、同一内容を郵送もしくはファクシミリにて期限内に送付する事。申込書式はJICFウェブサイトより入手できる。尚、トラックとロードそれぞれ専用の書式を使用するので、間違わないこと。
なお、大会当日受付でのライセンスチェックを行わないので、選手全員の一名分ずつのライセンスの写真画像データまたはスキャン画像データをエントリー用紙に添付すること。ライセンスが申請中の場合は、申請中であることを証明する書類のデータを添付すること。
また、体調管理シートを当連盟HPよりダウンロードして、選手は当連盟の「大会開催時ウイルス感染防止対策ガイドライン」に沿って大会開催14日前からの体調・体温の記録を各自記録して、当連盟から当該データの提出を求められた際には速やかに提出できるようにすること。
2. 参加料は正選手・補欠選手にかかわらずトラック、ロードそれぞれ1名6,000円。
3. トラックの申込期限及び参加料納入期限は、9月15日(火)必着、ロードの申込期限は9月23日(水)必着とする。
尚、ロードについて、参加申込者数が100名を超えた場合には、上記の参加資格12.の方法により選出を行い、本連盟HP上に参加申込可能者のリストを掲載する。参加申込可能者は本連盟HPで発表する期日までに、下記の口座へ参加料を振り込むことで、ロードのエントリー手続きが完了する。
4. 参加料の送金は、銀行口座振込とする。送金名義人について、トラックは振込元に大会コード1010と、XX大学等、必ず学校名を、ロードは振込元に大会コード1017と、XX大学等、必ず学校名を記入すること。
振込先 長野県労働金庫(ろうきん) 諏訪湖支店 普通 9687387 口座名義 日本学生自転車競技連盟
5. 一旦入金された参加料は如何なる理由があろうとも返金しない。但し、新型コロナ関連の影響で本大会の開催を当連盟が中止した場合は、大会開催に要した費用を差し引いた金額を銀行振込で返金する。返金用の銀行口座をエントリー用紙に記入すること。また、上記の参加資格にあるように当日の体調不良や新型コロナ対策の履行を妨げることにより参加不可の判断を下された場合には参加料は返却しない。
6. 尚、本大会における欠場については、理由を問わず(怪我等の正当事由がない場合でも)ペナルティを課さないこととする。ただし、必ず事前に事務局(jicf@remus.dti.ne.jp)まで電子メールで欠場の連絡をすること。また、当日の発熱等、体調不良により欠場する場合は、受付開始までに学連携帯090-2207-2369へ必ず連絡をし、事務局までメールをすること。なお、欠場の場合は参加料は返却しない。

会場入場

1. 本大会は無観客大会とする。
2. チームスタッフについては会場への入場者数を抑えてなるべく三密状態を避けるため、選手以外の方がチームスタッフとなる場合には、選手数+2名をスタッフ数の上限として会場への入場を許可する。尚、監督とコーチはスタッフの合計人数に含まれる。また、チームスタッフの選手以外の方の全員の氏名をエントリー用紙内に記入すること。氏名の記入がない場合には、会場への入場を許可しない。また、チームスタッフのみが、インフィールド内への立ち入りを許可されるが、その人数についてはJCF規則の他、コミュニケにて人数を制限する。
さらに、チームスタッフは出場選手と同様に当連盟の「大会開催時ウイルス感染防止対策ガイドライン」に沿って大会開催14日前からの体調・体温の記録を各自記録しておくこと。当連盟から当該データの提出を求められた際には速やかに提出できるようにすること。エントリー用紙に記入した来場予定のチームスタッフの氏名を変更する場合は、大会開催2日前の22時までには当連盟事務局あてに変更後のエントリー用紙をメールで送ること。これ以降のスタッフの変更・追加は認めない。
なお、変更後のスタッフの体調・体温についても大会開催14日前からの記録を同様に提出可能にすることを条件とする。
3. メディア関係者は、来場する場合、当連盟HPより取材申請書と体調管理シートを入手し、大会開催2日前の22時までには取材申請書をメールで事務局宛へ提出ください。また、選手の参加資格2.にありますように当連盟の「大会開催時ウイルス感染防止対策ガイドライン」に沿って、必要な情報に関する書類の提出などにご協力いただくことを原則とします。なお、体調管理シートに大会開催14日前からの体調・体温についての記録を記入して保管して頂くことを必須としており、また感染事例が疑われる場合などに本連盟の求めに応じて提出して頂く必要があります。状況により来場をお断りする場合もありますのでご理解ください。

出場者受付

1. ライセンスコントロールはトラック、ロードともに事前にデータ上でを行い、大会受付の現場では行わない。
2. トラックの参加選手は1日目及び2日目の7時30分から8時30分の間に、トラック競技場内の受付にてゼッケン等を受け取ること。尚、当日の補欠選手起用届をこの受付時間内に受付に提出すること。これ以降は補欠選手起用届の提出は認めない。また、TPとTSPについては、当該番組開始1時間前までにTP・TSP出走選手届をセクレタリに提出すること。トラックのバイク・インスペクションについては、実施方法が決定次第コミュニケにて発表する。
3. 正当な理由なく前項の規定を履行できない選手は、参加することは出来ない。
4. トラックにおいて予選に参加した選手以外の選手が予選以降の競技に出走することは認められない。
5. ロードの参加選手は、10月17日(土)8時00分から8時30分の間に、別途コミュニケ発表の受付場所にてゼッケンとプレートを受け取ること。出走前のバイクチェック、出走サインは行わない。レース終了後に上位者およびランダムサンプリングによりバイクチェックを行うことがある。器材に関する規則違反が明らかになった場合、レース終了後であっても、失格となる場合がある。
6. ロードは男女とも上記受付時間の終了を補欠選手起用届の提出の最終期限とし、その際、不出場となる正選手のゼッケンと

引き換えに補欠選手のゼッケンを配布する。これ以降の補欠選手起用届の提出は正選手の病気・怪我などの理由を除き、基本的に認めない。

対抗得点

本大会については男女とも、総合・ロード部門・トラック部門の対抗得点の付与は行わないこととする。

賞典・式典

式典の実施方法については後日、告知する。

事故措置

1. 競技中発生した事故等について、主催者にて応急処置の範囲の体制は準備するが、以降は各自の責任と費用負担において対応のこと。
2. 各選手は、各々の責任において傷害保険に加入し、健康保険証を必ず持参すること。

競技規則 JCF競技規則による他、詳細は本大会特別規則を定め適用する。

事務局 日本学生自転車競技連盟 E-mail: jicf@remus.dti.ne.jp URL: <https://jicf.info/>
〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号 ジャパンスポーツオリンピックスクエア408
Tel 090-2207-2369 (兼当日緊急連絡先) Fax 03-6804-232

大会特別規則

第1条 (スプリント)

男子は予選タイム上位8名が1/4決勝に、女子は上位4名が1/2決勝に進出する。男子の1/4決勝は1回戦制で行う。

第2条 (オムニウム)

男子はスクラッチ10km、テンポレース10km、エリミネーション、ポイントレース24kmで行う。

女子はスクラッチ8km、テンポレース8km、エリミネーション、ポイントレース20kmで行う。

男女とも、参加エントリーがトラックの制限(JCF規則第63条)による最多数の競技者を超える場合は、予選(ポイントレース)を行う。予選のポイントレースの距離について男子は12km、女子は8kmで行う。

第3条 (マディソン)

男子は予選10km(30周)、決勝20km(60周)で、女子は決勝のみ16km(48周)で行う。

第4条 (4kmTP)

決勝のみを行う。追抜きがあった場合でも両チーム完走しタイムを計時する。

第5条 (男女チームスプリント)

1. 決勝のみを行う。
2. 女子は2名出走とする。

第6条 (ギア比制限)

ロード競技のギア比制限は、年度末3月末日時点の年齢に基づいて適用する。

第7条 (個人ロードレース)

1. 選手受付 選手は、競技開始15分前までにスタート位置に集合する。バイクチェックと出走サインは行わない。
2. スタート位置 出走選手のうち、昨年度の本大会本種目における上位10名までの選手に最前列でのスタートを認める。
3. 器材補給
 - 1) 男子・女子共に主催者にて代輪等を積載できる共通器材車を用意する。
 - 2) 各校にて用意した代車・代輪の交換を大会コミュニケにより指定した場所でのみ認める。
 - 3) 事故やパンク等の場合に選手間での自転車、車輪を交換することは、同一校の選手間に限って認める。
4. 食料補給 飲食料の補給を別途大会コミュニケにより指定する場所と周回でのみ認める。
5. 失格の取扱い
 - 1) 原則として、先頭より一定時間遅れた選手及びコミッセルが完走不可能と判断した選手は、失格とし競技より除外する。打ち切り時間は別途定める。
 - 2) 前項の規定以外にも突発事故の発生等により競技中の選手を除外する事がある。その場合はコミッセルの指示に従うこと。
 - 3) 競技を中止あるいは除外された選手は、速やかにゼッケンを外すか、ユニフォームを裏返してゼッケンを見えなくすること。
6. 正式スタートまでのパレード区間の距離は、大会コミュニケで発表する。
7. ロードレースについては一般公道を走行可能な装備で参加のこと。ベル・反射テープの装着も必須とする。

注意：大会要項は諸事情により変更される場合があるので、JICFウェブサイトを随時チェックすること。